

①学校経営方針【大野小学校のミッション】

well-being ~すべての子どもたちが幸せを実感できる学校~

自己認識

相互尊重

他者貢献

ミッションを実現するために必要な**大野小**の3つの柱

子どもに自信を持たせること  
自分のよさや可能性を認識できる。

子どもの居場所を作ること  
あらゆる他者を価値のある存在として尊重する。

「人のため」を大切にすること  
社会に開かれた教育課程により多様な人々と協働する。

教師の  
行動指針

1 安全・安心

- ① 人的環境で
- ② 物的環境で
- ③ 組織で対応

2 礼儀正しさ

- ① 児童に
- ② 保護者に
- ③ 同僚に

3 演技・演出

- ① やる気にさせるため
- ② ベストを尽くさせるため
- ③ 自信をつけさせるため

4 効率・能率

- ① 学習指導の場面で
- ② 生活指導の場面で
- ③ 事務業務の場面で

②学校教育目標【地域、家庭、児童、職員のすべてが当事者】

みんなで作ろう**幸せな学校**

◆ 目指す子どもの姿 ◆

「自ら進んで学ぶ子」(自学)

「自分を高める子」(自律)

「互いを認めあえる子」(共育)

★現代社会の課題★

- 人口減少や高齢化、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化や多極化、地球環境問題など
- 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来

自学

★進んで学ぶ子を育てる

- 興味・関心を持って主体的に学習することができる。
- 自分で解決策を考え、チャレンジすることができる。
- 粘り強く探究することができる。
- 見通しを持って計画的に学習することができる。

- ◆児童の「気づき」を大切にすることで主体的に考える児童を育てる。
- ◆児童の主体的な学びの場を意図的に与え、適切な評価を行う。
- ◆児童に学びを促し、「自己有用感」を持てるようにする。
- 児童の主体性を尊重できれば、自分の意志や考えを持ち、失敗を恐れずチャレンジできる人材を育てることができる。

自律

★自分を高める子を育てる

- 物事をより良くしようとする態度や考え方が身についている。
- 自己決定し、目標に向かって努力することができる。

- ◆児童が自己決定できる場を設定し、適切な評価をして認め、自信を持たせる。
- ◆明確な課題と目標を設定し、自分の力で到達できるように支援する。
- 「我慢」「辛抱」は、「立派でありたい」という自尊心に支える行動で、「叱責」や「脅し」では長続きしない。

共育

★互いを認めあえる子を育てる

- 仲間を大切にしながら、共に成長することができる。
- 他者のよさを見つけ、それを認めていくことができる。
- 誰にでも平等に接することができる。
- 探究的な学習や体験活動等の場で、多様な人々と協働することができる。

- ◆教師自らが児童に「共感」し、「敬意」を抱き、寄り添う。
- 「共感」とは、「自分がその境遇だったら同じように行動するかもしれない」と感じる心である。
- 児童への「敬意」は、児童と同じ目線に立った時に生まれる。
- トラブル解決の糸口は「相手への敬意」であり、上手に「仲直り」させてあげられるように支援していく。